

安全データシート

作成日 : 2017/3/3
改訂日 : 2021/3/24

1. 化学物質等及び会社情報

会社名 : 株式会社 豊島製作所
住所 : 〒355-0036 埼玉県東松山市下野本1414
担当部署 : マテリアルズシステム事業部
電話番号 : 0493-24-6774
FAX番号 : 0493-24-6715
緊急連絡先 : 同 上

製品名(化学式・商品名) YBa2Cu3Ox

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : データが不足しているため、分類できない。
健康に対する有害性 : 皮膚感受性 : 区分1A
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 区分1(神経系、心血管系、筋肉系、腎臓、消化管)
: 区分3(気道刺激性)
環境に対する有害性 : データが不足しているため、分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
神経系、心血管系、筋肉系、腎臓、消化管の障害
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

: 【安全対策】
適切な保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
暴露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
露出物は回収すること。
【保管】
容器を密閉して換気のよい冷暗所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名(別名) : YBa2Cu3Ox
化学式 : YBa2Cu3Ox
CAS No. : 107539-20-8
官報公示整理番号 : Y2O3 : 既存化学物質1-560
(化審法) BaO : 既存化学物質1-87
CuO : 既存化学物質1-297
含有量 : 100wt%

4. 応急措置

吸入した場合	: 鼻をかみ、うがいをさせる。大量に吸入した場合、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ体を毛布等で覆い、保温して安静に保つ。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹼を使ってよく洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
目に入った場合	: 清浄な流水で最低15分間眼を洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、眼を指でよく開いて、眼球、瞼のすみずみまで水がよく行き渡るように洗浄する。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中をうがいさせ、洗浄する。可能であれば、多量の水を飲ませて吐かせる。被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	: 不燃性のため、周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
危険有害性	: 火災によって刺激性、又は毒性のヒュームを発生するおそれがある。
消火方法	: 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。低地、風下にいる人を退去させ、安全な場所に避難させる。 周辺火災の場合には、速やかに容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合には容器に散水して冷却する。 消火活動の際には、内蔵型呼吸器を装着し、完全保護衣を着用する。 消火作業は、風上から行い、低地や風下から離れ、近づかない。 消火水、希釈水による汚染に留意する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	: 飛散した場所を立ち入り禁止とする。回収作業の際には適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 漏れ出た物質や大量の希釈水が河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。
回収・中和	: 飛散した物を空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
注意事項	: 製品の取扱いには、吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように適切な保護具を着用する。
保管	
保管条件	: 乾燥した冷暗所に密閉して保管する。
容器包装	: 密閉式の破損しないものに入れる。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 作業環境評価基準	: 設定されていない。
許容濃度	: 日本産業衛生学会勧告値(2016年)	: 第3種粉塵
	ACGIH(2010年)	吸入性粉塵 2mg/m ³ 総粉塵 8mg/m ³ ; イットリウム及びその化合物、Yとして TLV-TWA 1mg/m ³ バリウム及び可溶性化合物、Baとして TLV-TWA 0.5mg/m ³ 銅 粉塵及びミスト、Cuとして TLV-TWA 1mg/m ³ ヒューム TLV-TWA 0.2mg/m ³

設備対策	: 全体換気装置を設置した場所での取扱い、出来るだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用することが望ましい。 取扱い場所の近くには安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。	
保護具	: 呼吸器の保護具	: 送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、防塵マスク
	: 手の保護具	: 安全衛生保護手袋、革手袋、耐熱性のテフロン手袋
	: 眼の保護具	: ゴーグル型、保護面(防災面)
	: 皮膚及び身体の保護具	: 保護服、保護長靴、保護前掛け、アームカバー

9. 物理的及び化学的性質

外観(色、形状など)	: 黒色固体
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲(上限・下限)	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 粉塵の拡散
混触危険物質	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	
- 経口	: データなし
- 経皮	: データなし
- 吸入	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する損傷・刺激性	: データなし
感作性 - 呼吸器	: データなし
- 皮膚	: 日本産業衛生学会許容濃度勧告では、銅及び銅化合物は皮膚感作性第2群に指定されている(産衛学会勧告(2016))ことから、区分1Aとした。 ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし

特定標的臓器・全身毒性

- 単回暴露 : ヒトでは可溶性バリウム化合物の経口経路あるいは吸入経路による有害影響として消化管症状（吐き気、嘔吐、腹痛、下痢）、心筋と全身の筋肉の刺激、低カリウム血症が報告され、重度の症例では全身の筋肉の麻痺が起こり、呼吸停止又は心室細動により死に至る場合もあると報告されている（ACGIH (7th, 2001)）。また可溶性バリウム化合物の事故あるいは意図的な高濃度の摂取により、胃腸炎（嘔吐、下痢、腹痛）、低カリウム血症、高血圧、不整脈、骨格筋麻痺及び腎障害を引き起こすとされている（CICAD 33 (2001)、ATSDR (2007)）。ヒトでは酸化バリウムと水酸化バリウムは、気道を刺激するとの記載がある（CICAD 33 (2001)）。以上より区分1（神経系、心血管系、筋肉系、腎臓、消化管）、区分3（気道刺激性）とした。
 - ・神経系、心血管系、筋肉系、腎臓、消化管の障害
 - ・呼吸器への刺激のおそれ
 - 反復暴露 : データなし
- 吸引性呼吸器有害性 : データなし

12. 環境影響情報

環境影響・生体毒性

- 水生環境有害性(急性) : データなし
- 水生環境有害性(慢性) : データなし
- 残留性・分解性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動性 : データなし

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法 : 残余廃棄物及び汚染容器・包装は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

規制情報

- 陸上 : 毒劇法の規定に従う。
 - 海上・航空 : 船舶安全法・航空法の規定に従う。
- 国連番号 ; 1564
品名 ; バリウム化合物
国連分類 ; クラス6.1(毒物)
容器等級 ; III

- 安全対策 : 運搬の温度、湿度、圧力等の変化によって破損や漏洩がない容器に、輸送中に破損等が起こらないように収納する。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 法第57条の2(令第18条の2別表第9)
 ・No.54 イットリウム及びその化合物
 ・No.449 バリウム及びその水溶性化合物
 ・No.379 銅及びその化合物
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
- PRTR法 : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 指定令第2条 劇物 バリウム化合物
- 船舶安全法 : 危規則第3条危険物告示別表第1 毒物類
- 港則法 : 施行規則第12条危険物告示 毒物類
- 航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1 毒物類

16. その他の情報

- 参考文献 : 1) R.E.Lengua ; The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data.
2) 化学大辞典 共立出版
3) 山県 登 ; 微量元素 ; 産業図書
4) 日本化学学会編、化学便覧 : 丸善
5) R.C.Weast, CRC Handbook of Chemistry and Physics; CRC Press Inc.
6) (独)製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp>
-

本SDSは各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。